

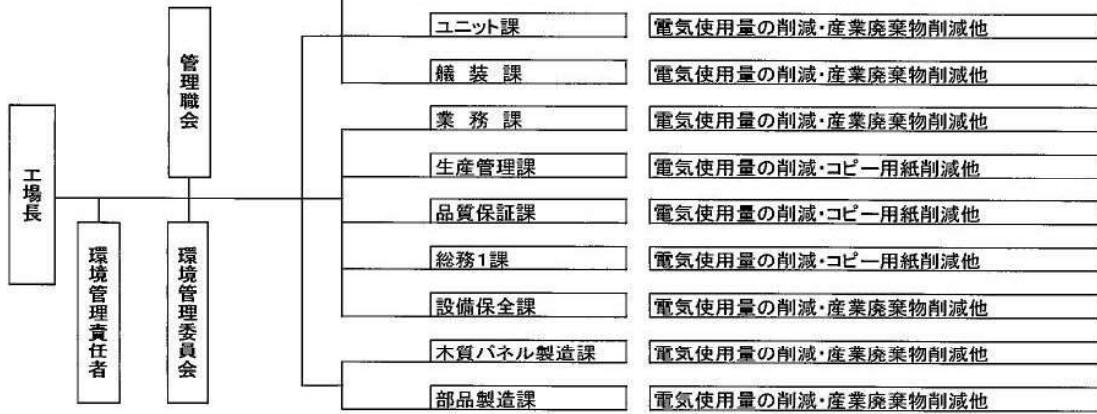
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成29年6月28日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 東京都新宿区西新宿2-4-1	
氏名 テクノエフアンドシー株式会社	
代表取締役 道官 陽	
電話番号 03-5941-3078	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	テクノエフアンドシー株式会社 名古屋工場
事業場の所在地	愛知県江南市前野町東2-1
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	その他の製造業
②事業の規模	製品売上高 7313百万円
③従業員数	183名(平成29年3月31日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	【住宅外壁の製造】 原料配合⇒投入・成型⇒養生⇒乾燥⇒塗装⇒ユニット工程へ供給 ↓ ↓ 型からあふれた廃スラリーが発生 塗料汚泥が発生 【住宅の艤装、部品の製造】 ↓ 材料投入⇒溶接等の加工⇒外壁取付⇒開口、間仕切り等艤装⇒搬出 ↓ ↓ 梱包材、端材が発生 木くず、ガラス・陶磁器くず等が発生 【新規 住宅外壁材の製造】 材料投入⇒タイルとサイディングの接着加工⇒役物加工⇒搬出 ↓ ↓ 木くず、ガラス・陶磁器くず等が発生

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成28年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり
	排出量	別表1のとおり
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物から有価物への転換促進(例:木くず) ・廃スラリーの歩留り改善 ・梱包材を削減(例:通い箱や部分梱包) ・産業廃棄物として発生した端材の再利用	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別表2のとおり
	排出量	別表2のとおり
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物から有価物への更なる転換促進 ・廃スラリーの歩留り改善 ・梱包材を削減(例:部分梱包)	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラ類、ガラス・陶磁器、木くず、金属類、溶剤系廃塗料他 分別の細分化徹底で、少しでも多くのゴミを有価物として再利用
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラ類、ガラス・陶磁器、木くず、金属類、溶剤系廃塗料他 各工程の分別の乱れについて情報発信・是正

(第3面)				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度(平成28年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	—	—
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
		(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	—	—
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
		(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度(平成28年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—	
	(今後実施する予定の取組)			

(第4面)			
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(平成28年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成28年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量	別表3のとおり	
	優良認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)		
②計画	【今年度(平成28年度)目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	別表4のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	
	優良認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

別表1

【前年度(平成28年度)実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	ガラス陶磁器	木くず	廃油	合計
排出量	747t	132t	123t	5t	6t	1,013t

別表2

【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	ガラス陶磁器	木くず	廃油	合計
排出量	740t	131t	122t	5t	6t	1,003t

別表3

【前年度(平成28年度)実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	ガラス陶磁器	木くず	廃油	合計
全処理委託量	747t	132t	123t	5t	6t	1,013t
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	747t	132t	123t	5t	6t	1,013t
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—
優良認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—

別表4

【今年度(平成29年度)目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	ガラス陶磁器	木くず	廃油	合計
全処理委託量	740t	131t	122t	5t	6t	1,003t
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	740t	131t	122t	5t	6t	1,003t
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—
優良認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—